

# No.1 日本周辺漁海況情報 第 41号

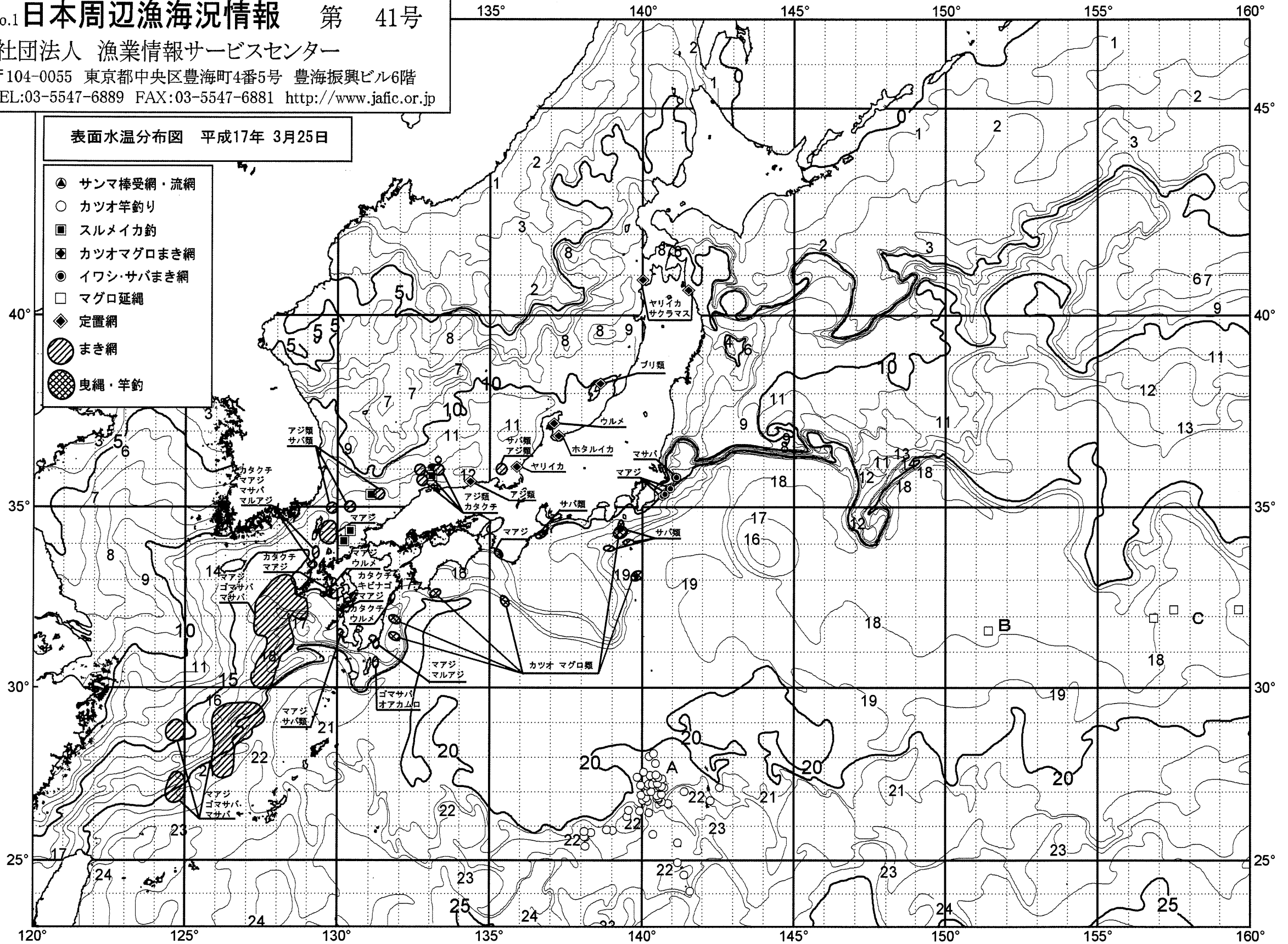
社団法人 漁業情報サービスセンター

〒104-0055 東京都中央区豊海町4番5号 豊海振興ビル6階

TEL:03-5547-6889 FAX:03-5547-6881 <http://www.jafic.or.jp>

表面水温分布図 平成17年 3月25日

- ▲ サンマ棒受網・流網
- カツオ竿釣り
- スルメイカ釣
- ◆ カツオマグロまき網
- イワシ・サバまき網
- マグロ延縄
- ◆ 定置網
- ▨ まき網
- ▩ 曳縄・竿釣



## 日本周辺漁海況情報 第41号

社団法人 漁業情報サービスセンター

## 【今期の特徴】

◎海況：表面水温は、停滞気味～緩やかな降温。黒潮流路は東シナ海で大陸棚寄りに北西に向かい薩南海域で接岸、日向灘～四国沖～紀伊水道沖でやや離岸、遠州灘～房総半島沿岸で徐々に東へ移動している模様。黒潮流域は36°30'N・147°E付近まで北上して大きく蛇行しながら東進。東北沖合域の北上暖水域は、145°E付近を幅広く波及。常磐沿岸は南部で10～15℃台の暖水域に覆われ、北部～その沖で親潮系冷水の6～8℃台が南北に分布。三陸沿岸では3～7℃台が分布。道東近海は0～1℃台が広く分布。津軽暖流は南南西に蛇行して143°E付近まで張り出している。対馬暖流はトカラ海峡西から西北西に離岸気味で幅広く北上して、日本海では全般に幅広く分布。リマン寒流系水の南下は、鬱陵島東沖や能登半島北沖で幅広く張り出している。日本海中央部で潮目を形成。

◎漁況：まき網：房総沿岸はサバ類・アジ類主体。南西東海域でサバ類・ウルメ主体。東シナ海はマアジ・ゴマサバ主体。23日から月夜休漁。日本海はアジ類・カタクチ主体。スルメイカ漁：全般に低調な漁獲。カツオ・マグロ漁：屋久島～奄美大島海域でカツオ・ヨコワ主体の好漁。定置網他：ブリ類は全般に低調な漁獲。

## 1. 八戸～房総のまき網(漁獲は1投網当り)

◎今期の水揚量(水揚日数2日)：荒天休漁が多かった。前期4百トン(5隻、2そうまき2隻140t含む)の水揚げのあったカタクチイワシは皆無であった。サバ類(ジャミ)は2千6百トン(16隻)で前期(1万1千6百トン(49隻)の22%に終わった。久しぶりにマアジ37トン(8隻)と混獲されたカマス5トン(3隻)が見られた。20日定休日。18・21～23日荒天休漁。

◎サバ(ジャミ)：19日：波崎E14海里(10～13℃台)で20～230トン、平均127トン(16回)。

◎マアジ(マメ)：24日：大東崎ESE/E12海里(15℃台)でオカズ(1回)、同E16海里(14℃台)で一部カマス混じりをオカズ～5トン、平均2トン(5回、内オカズ3回)、白子E25海里(15℃台)でオカズ(1回)。

◎魚体(千葉水産研究センター測定)：マアジ：24日(大東崎沖)15cmモード。カマス：24日(大東崎沖)平均31.7cm。

## 2. 伊豆諸島海域のサバ火光利用漁業(たもすくい・棒受網)

18～21日：荒天休漁。22日：銭洲～三本根～三宅(18℃台)

で千葉県船2隻がゴマサバ(ピン主体)1トン・3トン。利島でゴマサバ・マサバ(ピン)を神奈川県大型船2隻9トン、中型船7隻20トン。鵜渡根島で静岡県船3隻がさば子・イワシ・ゴマサバ(ピン)を53トンの漁獲。23～24日：荒天休漁。

## 3. 南西・東海のまき網(漁獲は1日1統当り)

三重県あぐり網：奈屋浦・錦・安乗、延15統サバ類平均30トン、カタクチ平均2.8トン、ウルメ平均0.2トン他。和歌山県：紀伊水道沖合、延8統マアジ平均3.2トン、マルアジ平均0.98トン、サバ類平均0.4トン他。串本、延3統キビナゴ平均3.2トン、カタクチ平均0.4トン他。宮崎県：中型船：美々津沖、延27統カタクチ(10～13cm)平均6.4トン、ウルメ(22～24cm)平均1.8トン、マルアジ1.8トン他。小型船：島浦周辺、延8統カタクチ平均0.8トン。鹿児島県：阿久根港：大型船8統マアジ(豆)主体、平均12.6トン。中型船延7統マアジ(豆)主体、平均4トン。枕崎港：大型船延2統マアジ(豆)主体、平均75トン、中型船延9統ゴマサバ主体、平均21.2トン。

## 4. 東シナ海のまき網(漁獲は1日1統当り)

◎沖合漁場：対馬周辺：13℃台、1統マアジ(豆)。500箱(8トン)。九州西沖：15～19℃台、延31統マアジ(30～220尾)主体に、マサバ(豆・30～60尾)、ゴマサバ(30～70尾)、ムロアジ他。最高4,800箱(77トン)・平均1,500箱(24トン)。中南部海域：13～20℃台、延19統マアジ(30～210尾)主体、ゴマサバ(40～90尾)、マサバ(40～100尾)、ブリ・カンパチ他。最高5,700箱(91トン)・平均950箱(15トン)。

◎沿岸漁場：長崎県中小型船：沖合域：延54統カタクチ(中～大羽)主体、マアジ・マサバ各(豆～中)他、平均3～7トン。沿岸域：延16統カタクチ(中～大羽)主体、マアジ(豆)、平均4～27トン。鹿児島県：野間・阿久根沖、マアジ(豆)、サバ類(小)他、大型船8統平均12.6トン、中型船延7統平均4.0トン。内之浦沖、マアジ(豆)、マルアジ他、大型船延2統平均65.0トン、種子島東、ゴマサバ(中)、オアカムロアジ他、中型船延9統平均21.2トン。

## 5. 日本海のまき網(漁獲は1晩1統当たり)

◎山陰大型船：18日：各1統がマアジ(超小型)をオカズ、ブリ(ハマチ)5トン。19日：2統がマアジ(極小)80トン・20トン、1統がブリ(ハマチ)5トン、カイム1統。20日：4統がマアジ(極小)5～70トン、平均34トン。21日：2統がマアジ(極小)25トン・5トン、1統がマアジ(小)12トン。22日：各1統がマアジ(小)6トン、同(超小型)16トン、同(極小)6トン、カイム1統。23日：2統がマアジ(極小)40トン・60トン。24日：各1統がマアジ(極小)25トン、同(超々小型)20トン。

◎山陰中・小型船：18～19日：荒天休漁。20～21日：定休日。22日：4統がカタクチイワシ20～80トン、平均56トン、2統がマアジ(極小)10トン・5トン、各1統が同(超々小型)15トン、マサバ(ローソク)3トン、スルメイカ1トン。23日：5統がカタクチイワシ18～95トン、平均60トン、4統がマアジ(極小)3～10トン、平均5トン、1統が同(超々小型)16トン。24日：5統がカタクチイワシ25～111トン、平均70トン、3統がマアジ(超々小型)12～40トン、平均28トン、各1統が同(極小)6トン、ウルメイワシ4トン。

◎浜田地区船：18～19日：荒天休漁。20日：2統がマサバ(マメ)12トン・オカズ、1統がマアジ(極小)22トン。21日：荒天休漁。22日：2統がカタクチイワシ42トン・22トン。23～24日：荒天休漁。

◎北・中部日本海船：18～19日：荒天休漁。20日：各1統がマアジとマサバ12トン、マサバとマイワシ10トン、マイワシ70トン、カイム1統。21日：荒天休漁。22日：各1統がマサバとマアジ80トン、マサバとマイワシ75トン、マサバ1トン。23日：各2統がマサバ260トン・6トン、マアジとマサバ100トン・135トン。24日：各2統がマアジ15トン・13トン、マサバとマアジ2トン・26トン。

## 6. 太平洋スルメイカ釣り等(漁獲は期間中合計：木箱は発砲換算：生1ケース5～6kg：トロールも釣ケース換算)

◎南西東海：茨城県：平潟・大津・久慈町：底曳網44kg。三重県：錦・九鬼・片田・奈屋浦：定置網3トン。和歌山県：串本：7日間延34隻0.2トン。宇久井・太地：定置網：1.9トン。高知県：定置網：芸東：1.2トン。幡多：0.6トン。

## 7. 東シナ海・日本海スルメイカ釣り(漁獲は期間中合計、生1箱：5～6kg)

◎沿岸漁場：長崎県：対馬東岸：7日間延154隻18.7トン。壱岐勝本：5日間延6隻29.1トン。定置網：五島有川：7日間延28隻3.9トン。五島魚目：6日間延18隻0.4トン。北松生月：6日間延6隻0.2トン。山口県見島周辺 豊北：4日間延45隻4,223ケース。魚体はスルメイカ(20～25尾入)96%。島根県 恵曇：4日間延67隻6,335ケース。魚体はスルメイカ(25尾入)98%。浜田：6日間延190隻23,801ケース。鳥取県 西郷では4日間延40隻で887ケース。魚体はスルメイカ(30～40尾入)。東部網代：1日のみ7隻140ケース。魚体はスルメイカ(30～40尾入)。境港：3日間延26隻626ケース。兵庫県：延28隻4,335kg。余部：定置網16kg。香住：1日のみ3隻24ケース。石川県：宇出津：2.4トン、定置網1.1トン。富山県：魚津：25トン。新潟県：定置網1.8トン。

## 8. ケンサキイカ・ヤリイカ等情報(漁獲は期間中合計)

◎ケンサキ：長崎県：対馬東岸：7日間延159隻1.3トン。壱岐

# 日本周辺漁海況情報 第41号

社団法人 漁業情報サービスセンター

勝本:5日間延6隻7.6トン。五島奈留:7日間延83隻910kg。  
東京都:式根島:67kg。三重県:片田:定置網:134.5kg。

◎ヤリイカ:兵庫県:207kg。福井県:定置網:168kg。石川県:  
定置網:0.9トン。新潟県:定置網:75kg。青森県:定置網・底建  
網・底曳網・棒受網:鯨ヶ沢:7.6トン。大戸瀬:3.9トン。深浦:  
660kg。沢辺:147kg。平舘:356kg。茨城県:底曳網:104kg。

◎アオリイカ:三重県:錦・九鬼・片田:定置網:488.6kg。徳島  
県:延48隻0.3トン。

◎ホタルイカ:富山県:定置網:91.6トン。

## 9.近海カツオ竿釣・曳縄・まき網漁

◎竿釣(漁獲は1日1隻当り):A24~28° N・138~143° E:  
19~23℃台、延52隻がカツオ(特々大・特大・中・小・極小・  
大)主体にビンナガ(トンボ)、キハダ(チャップ・シビ・キメジ)混  
じりを最高13.0トン・平均3.0トン漁獲。群れは鳥付・ハネ。

◎南西東海(漁獲は期間中の合計):高知県:甲浦・宇佐・佐賀、  
延5隻カツオ12.5トン、マグロ(ヨコワ)3.2トン。鹿児島県:山川港、  
延12隻カツオ(小)12.2トン。屋久島南西海域、高知県小型船  
延19隻カツオ(2~7kg)74.8トン、マグロ(ヨコワ1~2kg)12.0トン。  
奄美北部海域、小型船延7隻カツオ(1~3kg)1.4トン、キハダ(1  
~10kg)2.1トン、メバチ(3~10kg)0.4トン。

◎曳縄(漁獲は期間中の合計):千葉県外房沿岸:18~19℃  
台、1晩1隻カツオ(小々・小主体、中・大混じり)50~300kg。伊  
豆諸島:式根島・三宅島・八丈島、延233隻クロマグロ(メ  
ジ)283kg、キハダ(メジ)412kg、カツオ80.7トン、ビンナガ257kg、  
カジキ類9本、シイラ167kg他。和歌山県:紀伊水道沖、延  
698隻カツオ27.9トン、クロマグロ(ヨコワ)17.2トン、キハダ0.3ト  
ン、ビンナガ(トンボ)0.6トン、シイラ0.3トン他。高知県:甲浦・加  
領郷・佐賀・宇佐・土佐清水、延406隻カツオ14.2トン、マグロ  
(ヨコワ)2.6トン。ソーダカツオ(メジカ)は漁獲情報なし。宮崎県:  
うみさち1号・油津沖・土々呂沖、延355隻カツオ(1~6kg)2.1  
トン、マグロ(ヨコワ1~5kg)38.3トン、シイラ98kg他。

◎まき網(漁獲は1日1統当り):山陰沖:1統シイラ3.5トン。

## 10. 近海マグロ延縄・まき網・定置網等

◎気仙沼入港漁船聞き取り(3月上旬~中旬:漁獲は有漁1  
操業当り):B31° N・151° E:18℃台、数隻ヨシキリ130本、ア  
オ4本。C34° N・156~161° E:17~18℃台、延4隻ビンナガ  
平均2本、メバチ2本、メカジキ最高17本・平均12本、ヨシキ  
リ最高106本・平均73本、アオ3本。さらに東30~32° N・172

~177° E:17℃台、延8隻クロマグロ1本、ビンナガ最高15  
本・平均6本、メバチ最高16本・平均8本、キハダ1本、メカ  
ジキ最高17本・平均7本、メカジキ1本、ヨシキリ最高228本・  
平均87本、アオ11本。さらに東31~32° N・175~173° W:  
16~17℃台、延11隻ビンナガ最高9本・平均5本、メバチ最  
高12本・平均6本、メカジキ最高20本・平均13本、ヨシキ  
リ最高84本・平均32本、アオ6本。

◎南西東海沿岸(漁獲は期間中の合計):和歌山県:勝浦港、  
延59隻クロマグロ5.8トン、キハダ54.9トン、メバチ40.2トン、ビ  
ンナガ(トンボ)277.2トン。高知県:甲浦港、延10隻ビンナガ  
436本、メバチ(バチ)14本、同(ダルマ)32本、キハダ54本、同  
(シビ)28本、カジキ類5本。宮崎県:種子島~喜界島東沖、延  
57隻ビンナガ(9~13kg)59.1トン、メバチ6.8トン、キハダ22.3ト  
ン他。

◎定置網(漁獲は期間中の合計):宇出津、延129隻クロマグ  
ロ(メジ)0.1トン。新潟県:両津、延24統マグロ(メジ中)29本  
132kg、同(小)99kg。

◎曳縄(漁獲は期間中の合計):鹿児島県:屋久島沖合、マグ  
ロ(ヨコワ1kg)200kg/隻・日。

## 11.ブリ定置網等情報(県水試速報による。漁獲は期間中計)

◎日本海:新潟県:ブリ6.9トン、イナダ51トン。青森県:大戸瀬:  
底建網:3kg。三重県:錦・九鬼・片田:定置網:ブリ470尾4.3ト  
ン、ワラサ17尾75.9kg、イナダ5尾7.7kg。

◎山陰まき網:ブリ50kg。ハマチ13トン。

◎太平洋:和歌山県:宇久井・太地:ブリ49尾0.4トン。ワラサ  
500尾2.1トン。高知県:芸東:ブリ1,310本9.7トン。幡多:30本  
0.3トン。鹿児島県:定置網:甌海域ではブリ(4~8kg)80~120  
尾/統の漁獲。西薩南部海域ではブリ(5kg主体)30~100尾/  
統の漁獲。大隈半島東部海域ではブリ3.1トンの漁獲。

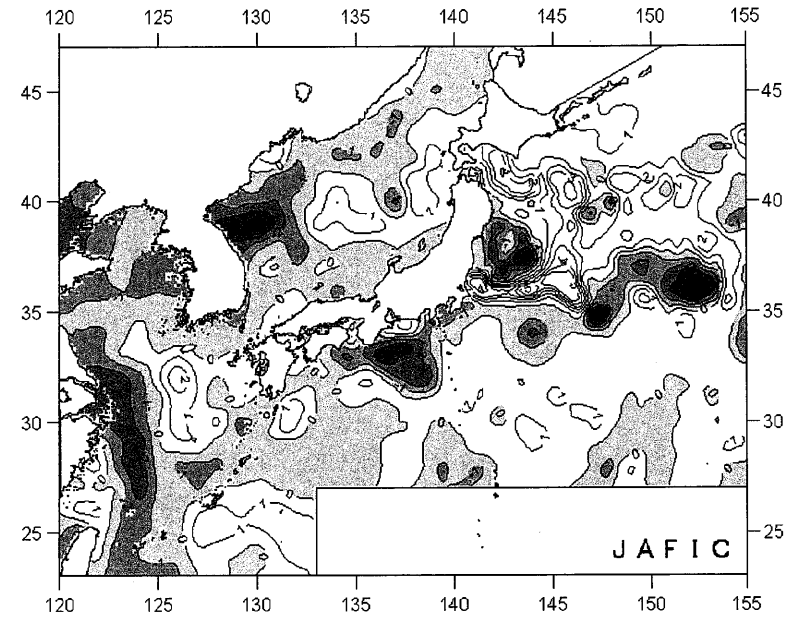
◎東シナ海まき網(1箱16kg換算):男女群島南方海域で800  
箱、12.8トン。クチミノセ周辺海域で630箱、10.1トン。

## 12.シラス情報(各県水試速報による。漁獲は期間中計)

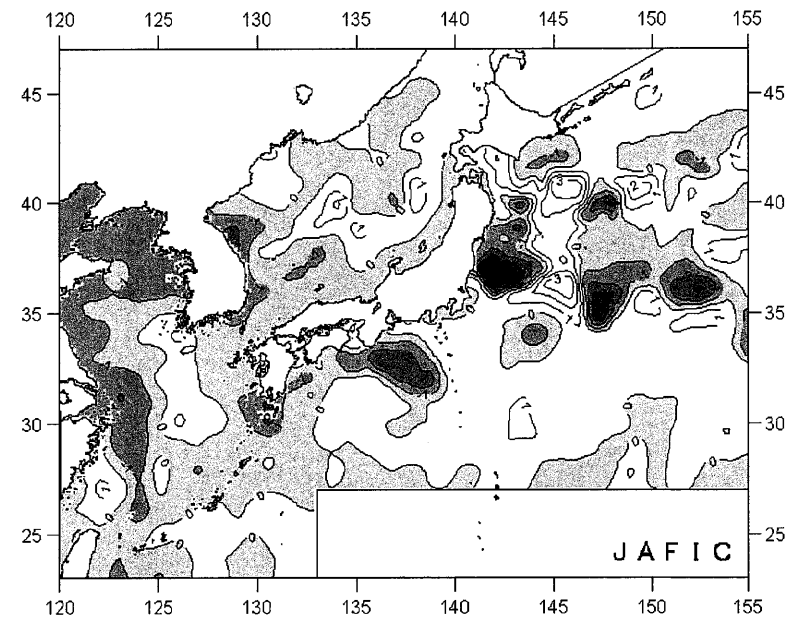
◎和歌山県:西脇・栖原・南部・田辺、延41隻11.1トン。高知  
県:安芸・春野町・錦浦・大方町、延217隻90.4トン。宮崎県:  
延岡・土々呂、延26隻で38.3トン。

【表面水温偏差図(影部分はマイナス)】

## 2005年3月中旬 前年偏差



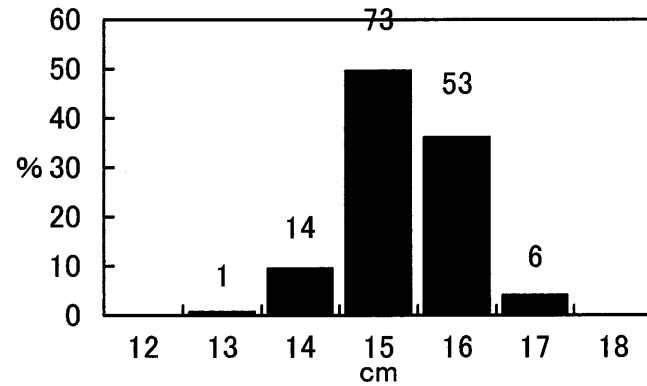
## 2005年3月中旬 21年偏差



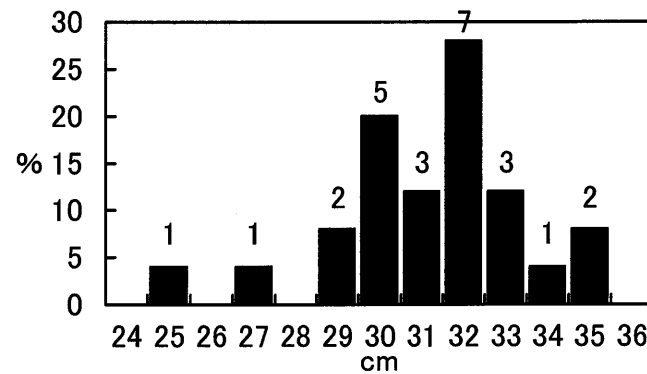
# 日本周辺漁海況情報 第41号

社団法人 漁業情報サービスセンター

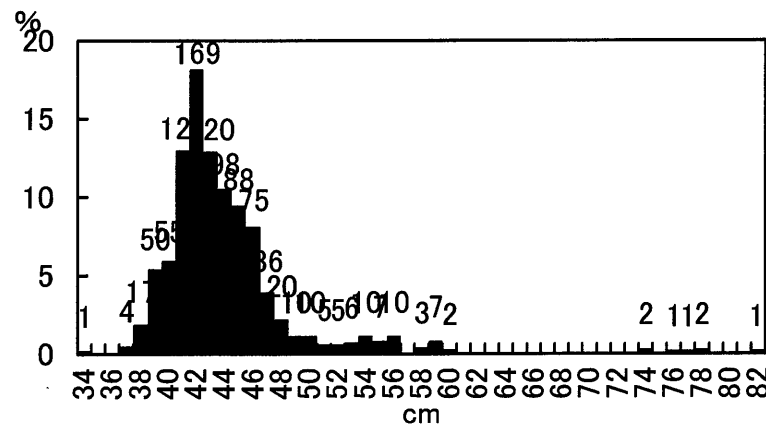
## 【魚体組成】



マアジ(千葉水研センター) まき網  
3/24 35° 19' N・140° 46' E データ:147尾



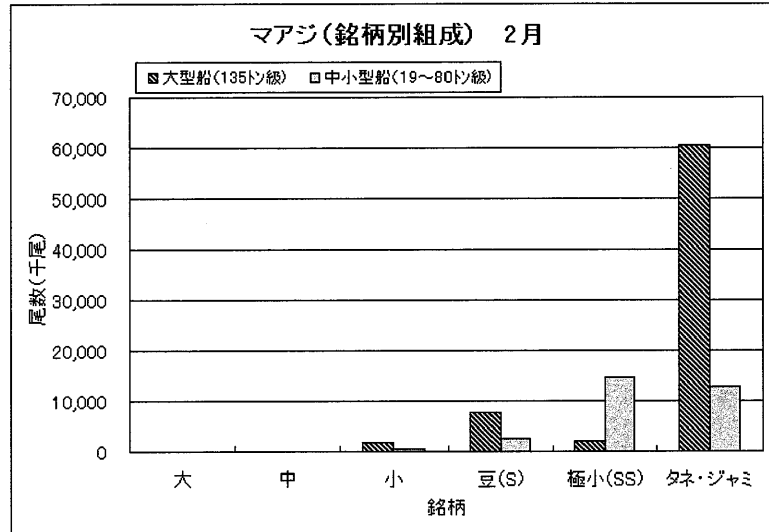
カマス(千葉水研センター) まき網  
3/24 35° 19' N・140° 46' E データ:25尾



カツオ(和歌山水試) 曳縄 3月19日～20日  
31° 55' N・135° 00' E 付近 データ:936尾

## 【水産資源情報 日本海(山陰海域) マアジ 2月】

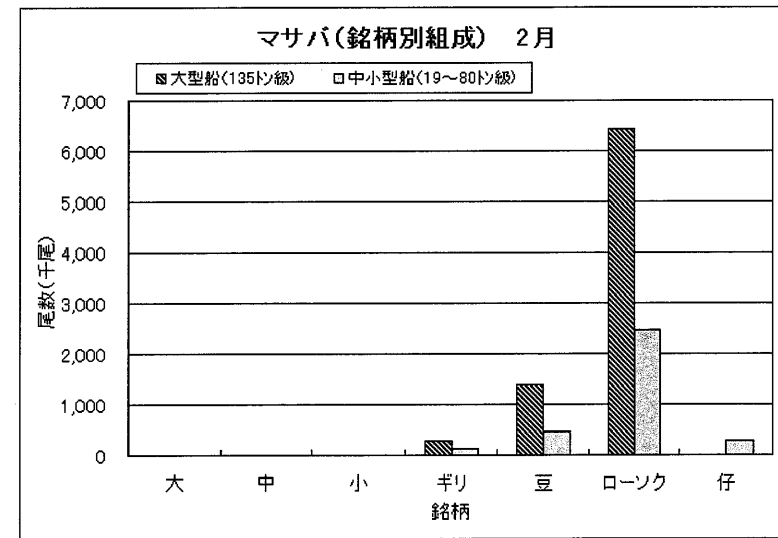
・2月の漁獲尾数は、約10,300万尾。銘柄はタネ・ジャミ主体に全体の71%。  
・大型船は、タネ・ジャミ(59%)主体に豆(8%)他の漁獲。  
・中小型船は、極小(14%)主体にタネ・ジャミ(12%)他の漁獲。



◎銘柄毎のおよその体重:・大:275g ・中:200g ・小:140g ・豆(S):95g ・極小(SS):60g ・タネ・ジャミ:40g

## 【水産資源情報 日本海(山陰海域) マサバ 2月】

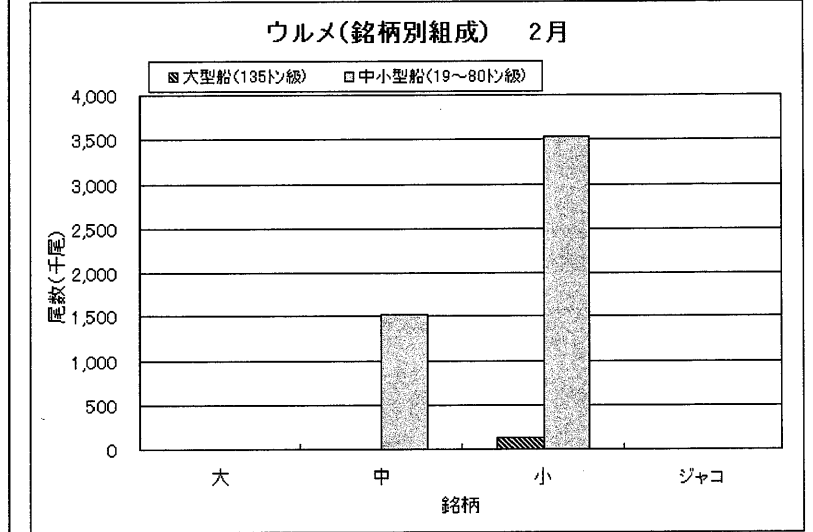
・2月の漁獲尾数は、約1,200万尾。銘柄はローソク主体に全体の78%。  
・大型船は、ローソク(56%)主体に豆(12%)・ギリ他の漁獲。  
・中小型船は、ローソク(21%)主体に豆(4%)・仔他の漁獲。



◎銘柄毎のおよその体重:・大:790g ・中:630g ・小:465g ・ギリ:345g ・豆:240g ・ローソク:135g ・仔:70g

## 【水産資源情報 日本海(山陰海域) ウルメ 2月】

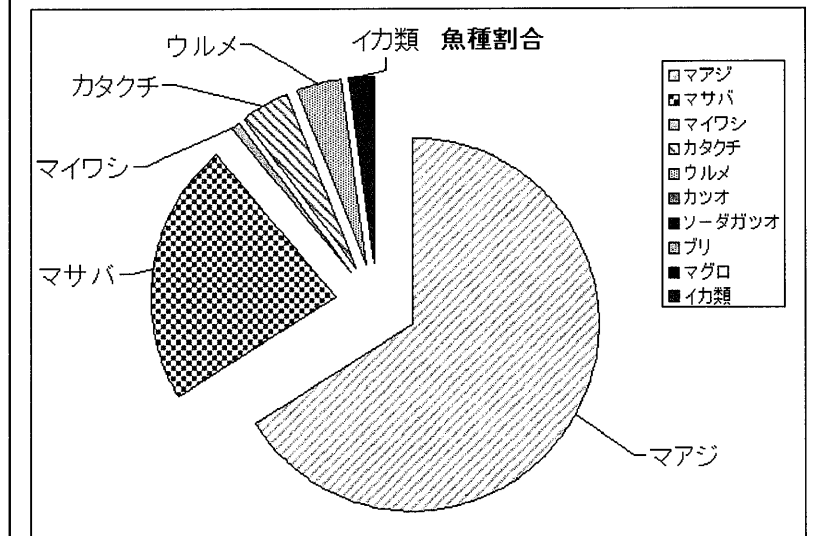
・2月の漁獲尾数は、約520万尾。銘柄は小主体に全体の70%。  
・大型船は、小(2%)の漁獲。  
・中小型船は、小(68%)主体に中(29%)の漁獲。



◎銘柄毎のおよその体重:・大:120g ・中:75g ・小:45g ・ジャコ:20g

## 【水産資源情報 日本海(山陰海域) 魚種割合 2月】

・2月は、マアジ主体(66%)にマサバ(23%)・カタクチ・ウルメ(各4%)他の漁獲。  
・大型船は、マアジ(44%)主体にマサバ(17%)・イカ類他の漁獲。  
・中型船は、マアジ(22%)主体にマサバ(6%)・カタクチ・ウルメ(各4%)他の漁獲。



◎割合は、魚種別の漁獲量の割合。